

国語総合（現代文）学習指導案

日 時 令和2年11月10日（火）3校時
対象クラス 1年E組
使用教科書 国語総合 改訂版 現代文編
(大修館書店)
授 業 者 伊藤 崇志

1 単元名：グローバリズムのかたち（教材：「グローバル化とグローバリズム」平川克美）

2 単元の目標

(1) 筆者の主張を理解し、グローバル社会のあり方について考えを深めようとする。

【関心・意欲・態度】

(2) 筆者の主張を理解し、グローバル社会のあり方について考えを深める。

【読む能力】〈「C読むこと」の(1)のエ〉

(3) 語句の意味や文章の構成、引用文の使い方についての確に理解する。

【知識・理解】〈〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の(1)のイの(イ)〉

3 取り上げる言語活動

言語活動：自身の意見や具体例についてグループで意見交換し、発表する。

4 本単元で育成しようとする「ことばの力」

グローバル社会について理解を深めるために、具体例に即して筆者の主張を読み取る力。

5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
グローバル社会の影響とそのあり方について把握し、筆者の問題意識を正確に読み取ろうとしている。	グローバル社会の影響とそのあり方について把握し、筆者の問題意識を正確に読み取っている。	予習プリントをもとに語句調べを行い、その意味を的確に理解した上で読解に役立てている。

6 生徒と単元

(1) 《生徒の実態》男子 15名 女子 20名 計 35名

授業に対して積極的に取り組む生徒が多く、グループ活動において活発な意見交換ができる。とりわけ女子生徒は学習意欲が高く、予習、復習を徹底している。一方で、クラス全体に向けた問いかけに対しては、正答を意識するあまり発言が消極的になることが多い。様々な視点や考え方があることに気づくことで、社会との向き合い方を考える一助としてもらいたい。

(2) 《本単元（教材）について》

「グローバル社会」という言葉が様々な場面で用いられるようになって久しい昨今では、生徒にとって「グローバル化」や「グローバリゼーション」という言葉は決して馴染みの薄い言葉ではない。むしろ「グローバル社会」以前の生活を知らない若い世代にとって、日常生活を海外の文化や慣習の影響を受けたものとして対象化し、その問題点を意識することの方がかえって困難であろう。本教材は、「グローバル化」と「グローバリズム」という類似した言葉の内実を分析することでその意味を対立させ、現代社会のゆがみを浮き彫りにするものである。また、野球を例に挙げることで「グローバル化」することを一概に悪しきことであると断せず、慣習や文化の融合が発展をもたらす可能性にも光を当てている。「グローバル社会」のあるべき姿についての筆者の主張を正確に読み取り、生徒自身が今後、社会と向き合う場合の考え方の一つとしてもらいたい。

7 全体計画（総時数4時間）

- ・1時間目：第一段落から「トッドの未来予測」と筆者の評価を把握する。
- ・2時間目：第二段落を通して「グローバリズム」と「グローバル化」が違うことを理解する。
- ・3時間目：第三段落の「日本野球」の例を読み解き、身近なところから「グローバル化」の具体例を探す。
- ・4時間目：第四段落から「グローバリズム」の問題点を明確にし、現代社会のあり方について考えを深める。

8 本時の計画（1／4時間目）

(1) 本時の目標：「トッドの未来予測」から現代のグローバル社会の位置づけについて理解する。

(2) 学習過程

過程	生徒の学習活動	学習形態	教師の指導・支援	評価規準 (評価の方法)	
導入 (10分)	1 「グローバル化」や「グローバリズム」という言葉から何を連想するか考える。 2 本時の目標と学習の流れを確認する。	全体		具体例を挙げようとしている。 【関心・意欲・態度】	
	本時の目標：トッドの未来予測はどのようなものか考えてみよう。				
展開 (35分)	3 ペアをつくり、第一段落を形式段落ごとに交互に音読する。	ペア		本文の内容正確に読み取っている。【読む能力】	
	4 「グローバリゼーション」、「グローバル化」、「文化」という語句の意味をまとめる。 5 「トッドの未来予測」の内容をまとめる。	全体 全体	・教科書311頁をもとに語句の意味をまとめ発表させる。 ・本文の形式段落4、5から「トッドの未来予測」の内容を読み取らせる。		
	問：「識字化」と「人口減少」に「相関関係」があるのはなぜだろうか。				
	6 自分の意見をまとめた後、グループを作り他の生徒と意見交換をし、発表する。 7 「トッドの未来予測」が本文で紹介されていることの意味を考える。 8 脚問①～③について考える。	グループ 全体 全体	・机間巡視をしながら「識字化」のためには何が必要か考えさせる。 ・「現代キーワードファイル」を参照しながら世界の情勢について考えさせる。 ・予習プリントに書き込むよう指示し、発表させる。		積極的に意見交換をしている。 【関心・意欲・態度】
まとめ (5分)	9 本時の目標について振り返る。	全体	・「トッドの未来予測」の内容と本文における位置づけをまとめさせる。 ・次時の予告をする。	本文の内容と展開を正確に把握している。【読む能力】	